

社会教育委員会 会議概要

1	審議会名	第9期第4回社会教育委員会
2	日時	令和5年10月5日(木) 午後1時30分から午後4時30分まで
3	会場	本庁舎2階 202・203 会議室
4	出席者	宮下俊哉委員(代表) 小山ひとみ委員 清水洋幸委員 滝澤共子委員 西澤むめ子委員 上野勝裕委員 小平千文委員 酒井真由子委員 滝澤正幸委員
5	市側出席者	上原生涯学習・文化財課長 星野中央公民館長 中村青少年係長 横田生涯学習係長 宮崎生涯学習係主任
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和5年11月2日

協議事項等

1	開 会
2	あいさつ(宮下代表、上原生涯学習・文化財課長)
3	会議事項
(1)	上田市青少年善行表彰の審査等について
(事務局)	上田市青少年善行表彰の概要と審査方法について説明
(委員)	質疑無し
(事務局)	令和5年度の推薦応募結果とその推薦された内容の事務局審査評価の結果について説明 (上田千曲高校生活福祉科高齢分野グループ、うえわちゃ)
(委員)	コロナ禍で高齢者の外出機会が減っていた時期に、包括支援センターの方を中心にこうした活動をされたというのは良い取り組みだと思う。スマホなど高齢者の方の苦手な部分を高校生が補って、交流の場を持ちながら、地域の中で連携して活動しているということが表彰に値すると思う。
(委員)	こうした活動をとおして海野町商店街をアピールしていくのは大事なことだと思う。
(委員)	高校生が中心になって、自ら動いているところが非常に良いと感じた。今、学校では「探究」がキーワードになっている。自分の思ったことや調べたことをもとに、実際に行動して、人とつながっていくというのは探究的な活動であると感じる。非常に良い活動であり、表彰には大賛成。
(委員)	どちらの活動、団体も表彰に値すると考える。若者たちが思ったことをやっていくときに、包括支援センターやまちなかキャンパス、先生等、地域や商店街等とつなげてくれた人や団体がいたと思う。そうしたつながりを生み出すコーディネーターのような役割をする人が大事で、そうした仕組みが大事だと思う。
(委員)	善行表彰というと、瞬発的な善い行いしかイメージできなかったが、今回の案件から学ばせていただいた。結論として、教育委員会として背中を押してやるべき案件だと思う。今後の継続性等心配な点はあるが、そんなことより気概を高く買ってやるべきと思う。
(委員)	高校生や若い子たちが、子どもから活躍できる場が減っている中で、何か希望が見えたと思った。器というか、高校生たちに失敗してもいいからやってみなという、大人の方々の眼差しがあったのではないかなと思う。4月にこども基本法が作られ、子どもたちの意見を聞いて社会に反映していくというところに注目されるようになった。同じ人間として大人の意見も、子どもの意見も同じように大事。そういう中で、子どもたちも失敗しながらやりたいことができる。言うだけじゃなく、大人も一緒に考えながら実現していく。そうした良い事例

の一つではないか。

4 その他

- ・令和5年度市政三者懇談会（10/2）の状況報告について
- ・公の施設における使用料などの考え方（案）市民説明会の実施状況について
- ・視察研修について
- ・「令和5年度東信地区社会教育委員活動情報誌～かけはしとなりて～」の原稿依頼について
- ・配布した資料について
- ・今後の日程について

5 閉 会